

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第3区分

【発行日】令和4年1月20日(2022.1.20)

【公開番号】特開2020-169760(P2020-169760A)

【公開日】令和2年10月15日(2020.10.15)

【年通号数】公開・登録公報2020-042

【出願番号】特願2019-70764(P2019-70764)

【国際特許分類】

F 25 D 9/00(2006.01)

10

F 25 D 17/02(2006.01)

F 25 D 13/00(2006.01)

F 28 D 7/10(2006.01)

【F I】

F 25 D 9/00 B

F 25 D 17/02 303

F 25 D 13/00 B

F 28 D 7/10 Z

【手続補正書】

20

【提出日】令和4年1月11日(2022.1.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0045

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0045】

前記ボディ71は、前記溶接Wでシェル44に対して固定された固定用筒状部73と、内周に前記シール部材72が配設されたシール用筒状部74とを互いに結合することによって形成されている。前記固定用筒状部73は、シェル44の外部に配された端部に雄ネジ部75を一体に有している。そして、該雄ネジ部75の先端部の内周には、該雄ネジ部75の先端に向けて内径をリニアに拡大させる傾斜面76が形成されている。一方、前記シール用筒状部74は、前記固定用筒状部73側の端部の内周に雌ネジ部77を有している。そして、該シール用筒状部74の内周における雌ネジ部77よりも奥側には、該雌ネジ部77側に向けて内径をステップ状に拡大させる段部78が形成されている。

30

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0053

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0053】

40

次に、第4ステップとして、循環液の設定温度を第2ステップの設定温度まで低下させると、循環ポンプ24aについては、前記第3ステップに引き続いて前記所定の高回転数に維持される。

一方、冷却ポンプ23aについては、それと同時に一旦回転数を前記第1ステップのアイドリング回転数よりも高回転数まで上昇させた後、循環液の測定温度が設定温度に到達する前の所定のタイミングで、該回転数を徐々に降下させていく。その後、循環液の測定温度が設定温度に到達した時点で回転数の降下を止め、測定温度と設定温度とが一致した状態においては、その回転数(第2ステップ時と同回転数)が維持される。

【手続補正3】

50

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 1】

